

花のある暮らし

花がもたらす ちよつといい毎日



▶ 農政課 ☎23-3517

日本一の花の生産地

本市の花の生産は、ハウスを利用した施設園芸が盛んで、1年を通じた栽培が可能です。そのため、出荷量も多く、花の産出額は年間313億円（平成27年農林業センサス）を誇ります。

この強みを生かし、生産地を守っていくため、本市は「日本一の花の生産地から、日本一花を贈るまちに！」をスローガンに、愛知みなみ農業協同組合、生産者および関係者と連携し、さまざまな取り組みを進めています。

しかし、最近では景気の影響などにより、家庭で花を飾ることが減る傾向にあります。お祝いやお供えの花も造花に替えられることが増えてきました。本市では、花のある生活や生花の良さをこれまで以上に伝え、産地から花の消費を盛り立てていくことが必要だと考えています。

本市が「日本一の花の生産

地」であるということは、全国的にもまだあまり知られていません。

また、生産地であるにも関わらず、市内で田原産の花を手に入れることが難しいという声も聞こえてきます。

そこで、本市では産地ならではの花を楽しむことができ、さまざまなイベントを開催しています。子どもの頃から花に触れ合う機会があれば、自然と「花のある暮らし」を営む大人に成長してくれるはず。

田原の花の素晴らしさを肌で感じて、花を育てる仕事や、花屋さんなど花に関わる仕事に就いてくれたらと願っています。

今回は、ハウスを訪ねて、花を育てる苦労や喜びなど花農家の現状を取材しましたので、ご紹介します。

そして、「日本一の花の生産地」に住んでいるからこそ楽しめる「花のある暮らし」をご提案します。